H26.7.27 読売新聞

ダイスキ！日本語で紹介

留学生16人 スピーチコンテスト

「留学生日本語スピーチコンテストin広島2014」が26日、広島経済大学の立町キャンパス(広島市)で開かれた。ボランティア団体「広島キワニスクラブ」の主催で、中国、韓国などから県内への留学生16人が、持ち時間5分でアニメ、広島の文化といった思い思いのテーマについて、滑らかな日本語を披露した。

日本語でスピーチをする外国人留学生（広島市中区で）

中国から広島文化学園大に留学中の朱泓霏（しゅ・おうひ）さん(20)は「広島人になりたくて、いつの間にか『カープ女子』になっていた」と語り、応援グッズが予想以上の経済効果を生んでいる――とスピーチ。

日本のアニメが好きでイランから広島女学院大に留学しているイランのアイソダ・アジダリさん(20)は、慣れない日本語に四苦八苦しながらも、「好きなことを仕事にすることが大事。日本でイラン大使になりたい」と夢を語った。